

編集 後記

本号に掲載されている論文を拝見し、本誌が現在のわが国の問題点を映し出していることを、あらためて認識せざるを得ません。高齢社会・閉じこもり老人の問題点、育児世代の両親がおかれている社会環境の評価、近年、観光地で人気の足湯の衛生管理についてなど、新聞の社説等でその話題が取り上げられても違和感のないテーマばかりです。また、目次をご覧になった読者の皆様は、資料のタイムリーなテーマに少し驚かれたのではないのでしょうか。地震災害時の要援護者への被災予防・避難支援の実態を把握した本調査は、実は東日本大震災以前にすでに開始されていたものです。本来であれば、この結果をもとに新たな Plan-Do-See のサイクルが展開されたところですが、昨年の大震災により、我々はずでに否応なしに大幅な Plan の見直しを迫られています。しかしながらそれは、今後の Plan の見直しに、この調査が不要であることを意味するものではありません。著者らも述べているように、“東日本大震災前の災害への備えの状況と認識が、震災時の対応にどう影響したのか、震災後にどのように変化したのか”を評価する上で貴重な資料と考えます。今後の報告を期待したいと思います。個人的には（可能であれば）、もし震災が起きていなかったら、私たちはどのくらいのスピードでどのような Plan-Do-See の展開を考えたであろうか？というシミュレーション結果と現在の対応との比較も、震災を経験していない他県においては、有用な情報ではないかと

次号予告（第59巻・第6号）

原著

女子学生における正常体重肥満と食行動との関連性……………間瀬知紀，他
傾向スコアによる交絡調整を用いた妊婦の冷え症と早産の関連性……………中村幸代，他

研究ノート

新型インフルエンザ（A/H1N1）流行シーズンにおける小中学生のインフルエンザワクチンの接種状況—ある学校法人の調査より—
……………豊島泰子，他

資料

人口動態調査死亡票における自殺死亡者の精神疾患について……………瀧澤 透
高齢者入所施設における肺炎球菌ワクチン同時接種及び再接種に対する認識と対応についての調査……………広瀬かおる

連載

ヘルスサービスリサーチ(23)……………近藤正英

考えます。

課題先進国であるわが国から発信される調査・研究の情報は、国際的にも重要であると思いますが、残念ながら本誌に掲載される論文のほとんどは和文です。本誌掲載論文は、インターネット上でも公開されておりますので、是非、英文論文も投稿して頂き、国際的な情報発信の場としても活用して頂ければと思います。（郡山千早）

第25回日本循環器病予防セミナー案内

実行委員長：磯 博康（大阪大学医学系研究科公衆衛生学）

会 期：平成24年8月1日（水）午後～8月5日（日）午前

会 場：セミナー会場：大阪大学銀杏会館 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

宿泊会場：阪急エキスポパークホテル 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-5

主 催：社団法人 日本循環器管理研究協議会 公益財団法人 日本心臓財団

内 容：循環器病予防：次世代の研究者・実践家へのメッセージ

（循環器疫学の基礎的知識から研究プロトコル作成までの実践講座 初・中級コース）

- 循環器病予防のための基礎・応用的な知識を得る
- 循環器臨床・疫学研究の基礎、企画・実施のポイントを学ぶ
- 循環器予防・臨床研究デザインを作成する
- グループワークによる検討と全体討論

受 講 者：募集数40名 ※循環器病予防に意欲のある医師，大学院生・研究生，コメディカルを歓迎

講 師：14名（現在循環器病予防医学で活躍されている先生方に講義・チューターを御担当いただきます）

受 講 料：日循協会員 50,000円 日循協非会員 70,000円

（※参加費には受講費・宿泊費・朝食費を含む）

申 込 み：日循協ホームページ <http://www.jacd.info/>より申込書をダウンロードし、必要事項を記入後、メールにて日循協事務局まで送付して下さい。

お問い合わせ：社団法人 日本循環器管理研究協議会事務局

〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4階

TEL：03-5324-0680 FAX：03-5324-0822 E-mail：jacd.seminar@gmail.com